

東日本大震災の概要

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の巨大地震が発生した。東北地方から関東地方にかけての太平洋沖、幅約 200km、長さ 500km を震源域とするこの地震は、津波を伴い、東北地方を中心として未曾有の被害を及ぼした。気象庁はこの地震を「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」と命名し、政府はこの地震による震災の名称を「東日本大震災」とした。

この巨大地震では、規模の大きな余震も頻発し、巨大地震の発生から 3 週間後までにマグニチュード 5 以上の余震が 400 回以上発生した。いわき市では 4 月 11 日と 12～13 日にかけてそれぞれ震度 6 弱の直下型余震が、9 月 20 日にも震度 5 強の余震が発生した。

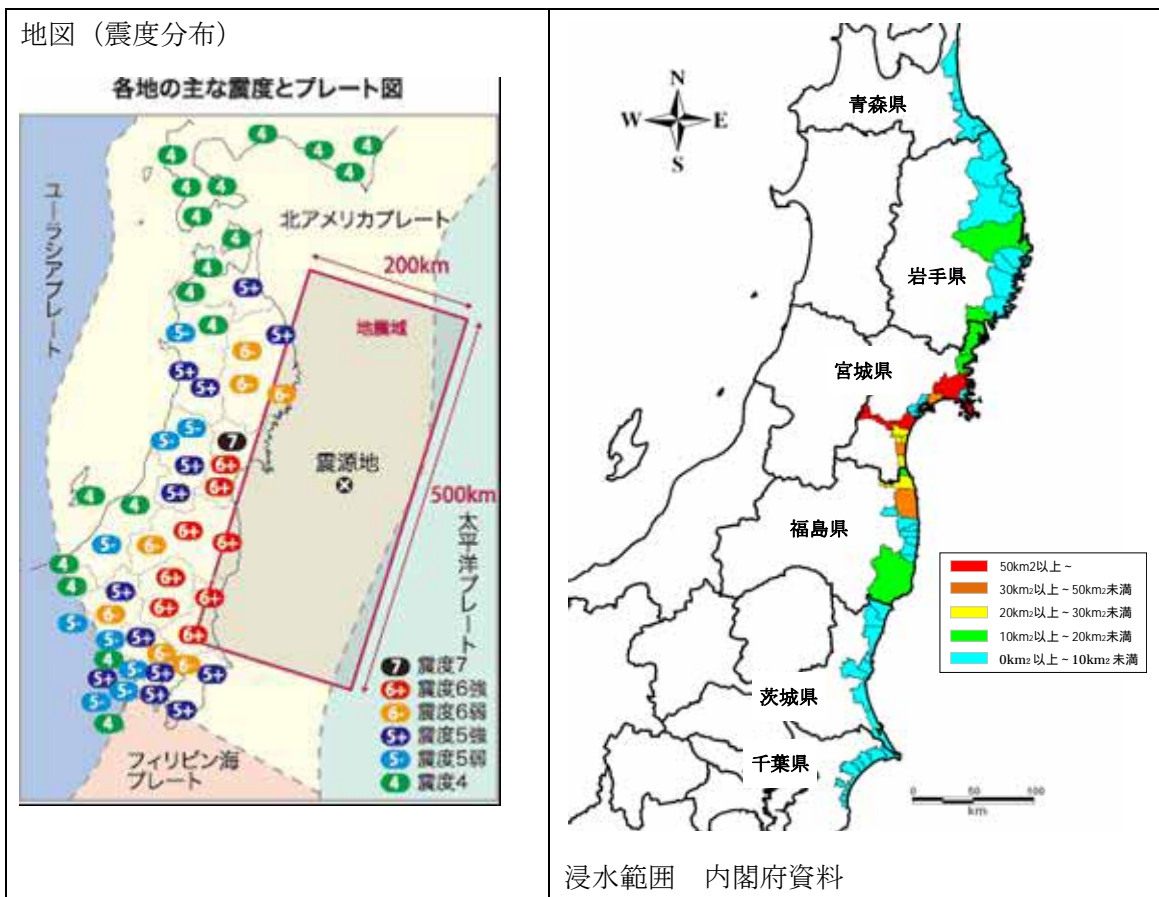
表 地震の発生状況（気象庁調べ）

① 発生日時	平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分
② 震央地名	三陸沖（北緯 38.1 度、東経 142.9 度）
③ 震源の深さ	24km
④ 規 模	モーメントマグニチュード 9.0
⑤ 津 波	14 時 49 分 津波警報（大津波）発表 ※津波高さは、検潮所の観測地として相馬で 9.3m を観測したが、観測施設が津波により被害を受けたためデータを入手できない期間があり、後続の波でさらに高くなった可能性がある。
⑥ 余 震	（平成 25 年 3 月 11 日現在） これまでに発生した余震は、最大震度 6 強が 2 回、最大震度 6 弱が 2 回、最大震度 5 強が 12 回、最大震度 5 弱が 44 回、最大震度 4 が 226 回

表 被害の状況（総務省消防庁発表資料）

① 人的被害	（平成 25 年 3 月 11 日現在） 死者 18,493 人 行方不明者 2,683 人 負傷者 6,217 人
② 住家被害	（平成 25 年 3 月 11 日現在） 全壊 128,801 棟 半壊 269,675 棟 一部破損 756,813 棟 床上浸水 3,352 棟 床下浸水 17,454 棟 非住家被害（公共建物 21,257 棟、その他 75,272 棟）
③ 火災の発生状況	平成 24 年 7 月 5 日確定値 330 件
④ 避難の状況	66,743 人

地図（震度分布）



津波による被害 出典：仙台市資料



被災した病院 南三陸町(平成 23 年 4 月 30 日)